

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年6月29日

京都府知事様



提出者

住 所 京都府南丹市八木町池上古里1番地1

氏 名 雪印メグミルク株式会社 京都工場池上製造所

製造所長 栄 拓志

電話番号 0771-42-6107

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	雪印メグミルク株式会社 京都工場 池上製造所		
事業場の所在地	京都府南丹市八木町池上古里1番地1		
事業の種類	処理牛乳・乳飲料製造業 日本標準産業分類番号 0913		
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,236.01t	全処理委託量	278.35t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	221.57t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	224.28t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	5,178.69t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	54.07t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

有 儿 物 量	
---------	--

不要物等発生量	
---------	--

自ら直接再生利用した量	②
-------------	---

排 出 量	実績値
-------	-----

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③
---------------------	---

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	自ら熱回収認定業者への処理委託量	うち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量
①排出量	4,813t	④4,813t	⑥222.66t	⑦4,590.34t	⑩222.66t	⑪のうち優良認定業者への処理委託量	⑫のうち再生利用業者への処理委託量
②+③自ら再生利用を行った量		④のうち熱回収を行った量	⑤			⑬	⑭
⑤自ら熱回収を行った量							
⑦自ら中間処理により減量した量	4,590.34t						
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量							
⑩全処理委託量	222.66t						
⑪優良認定処理業者への処理委託量	222.66t						
⑫再生利用業者への処理委託量	222.66t						
⑬熱回収認定業者への処理委託量							
⑭熱回収を行う業者への処理委託量							

自ら中間処理した後再生利用した量	⑧
------------------	---

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑪222.66t
---------------------	-------------------------------

(第2面)

計画の実施状況

(産業)廃棄物の種類: 廃プラスチック

1

項目	実績値
①排出量	47.52t
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら燃回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	47.52t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬燃回収認定業者への処理委託量	
⑭燃回収を行う業者への処理委託量	47.52t

自ら直接 再生利用した量	②	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③	自ら中間処理 した量	④	④のうち熱回 收を行った量	⑤
-----------------	---	-------------------------	---	---------------	---	------------------	---

自ら中間処理した後 再生利用した量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩47.52t	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑫
自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	自ら中間処理によ り減量した量	⑦				
	⑧						

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず)

有 備 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

排 出 量
① 0.53t

項目	実績値
①排出量	0.53t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら中間処理を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑪全処理委託量	0.53t
①優良認定処理業者への処理委託量	
②再生利用業者への処理委託量	0.53t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収を行なう業者への処理委託量	

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③
自ら中間処理した量	④
自ら中間処理した後の残さ量	⑥
自ら中間処理による減量	⑦
直接及び自ら中間処理した後の残さ量	⑪0.53t

自ら中間処理した後再生利用した量	⑤
自ら中間処理した後再生利用した量	⑩0.53t
自ら中間処理した後再生利用業者への処理委託量	⑫
自ら中間処理した後再生利用業者への処理委託量	⑬
自ら中間処理した後再生利用業者への処理委託量	⑭

)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)

有 備 物 量

不要物等発生量

①排出量
②自ら直接再生利用した量
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
④自ら中間処理した量
⑤④のうち熱回収を行った量
⑥自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
⑧⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収を行うう業者への処理委託量①0.00t
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩0.00t
⑪
⑫
⑬
⑭⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩0.00t
⑪
⑫
⑬
⑭

自ら中間処理した後再生利用した量

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理による減量した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑫のうち優良認定処理業者への処理委託量
①排出量	0.00t	④	⑥	⑦	⑩0.00t	⑪	⑫0.00t
②+⑧自ら再生利用を行った量							
⑤自ら熱回収を行った量							
⑥自ら中間処理により減量した量							
⑦自ら中間処理を行った量							
⑧⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量							
⑩全処理委託量	0.00t						
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t						
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t						
⑬熱回収認定業者への処理委託量							
⑭熱回収を行うう業者への処理委託量							

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃酸)

有 傷 物 量
不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③

排 出 量
① 30.63t

項目	実績値
①排出量	30.63t
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑪処理委託量	30.63t
⑫再生利用業者への処理委託量	30.63t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫30.63t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬

自ら中間処理した後 後の残さ量
⑥

自ら中間処理 した量
④

自ら中間処理による 減量した量
⑦

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫30.63t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分した量
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬

直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量
⑮

自ら中間処理した後 後の残さ量
⑯

自ら中間処理した後 自ら埋立処分した量
⑰

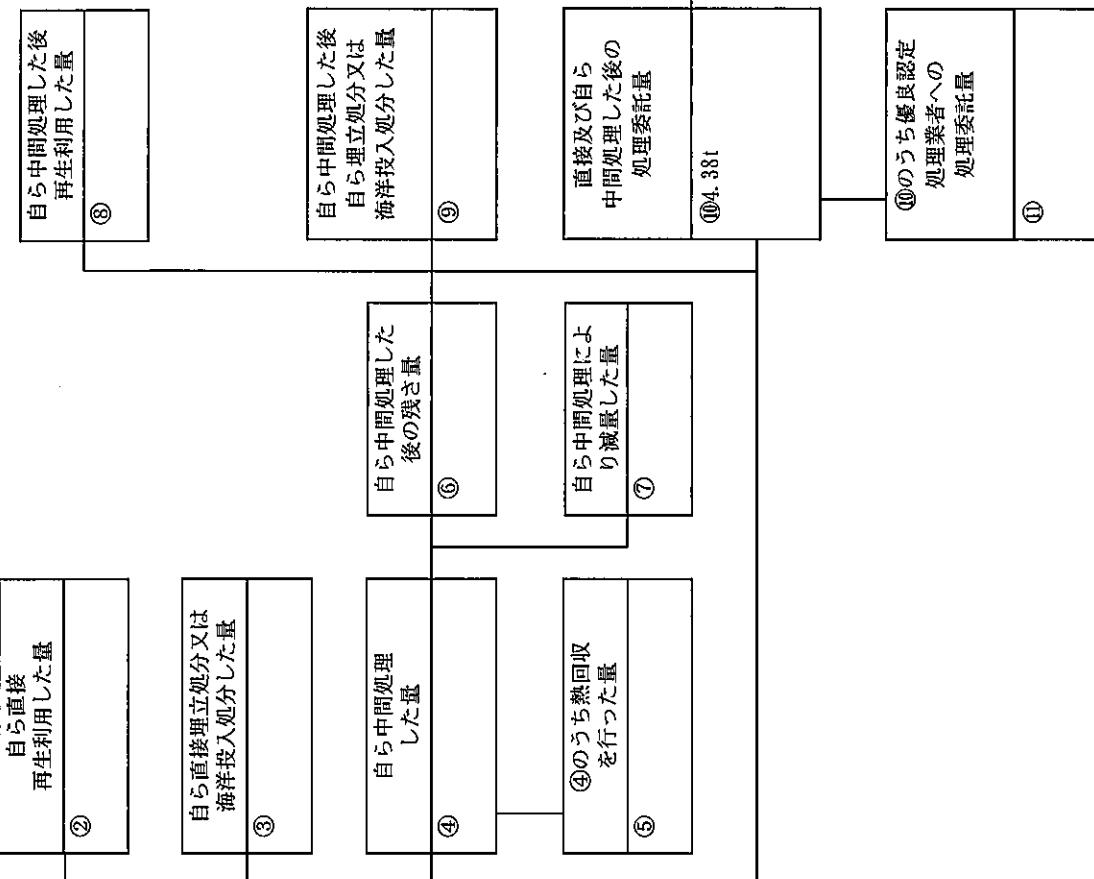
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動植物性残渣)

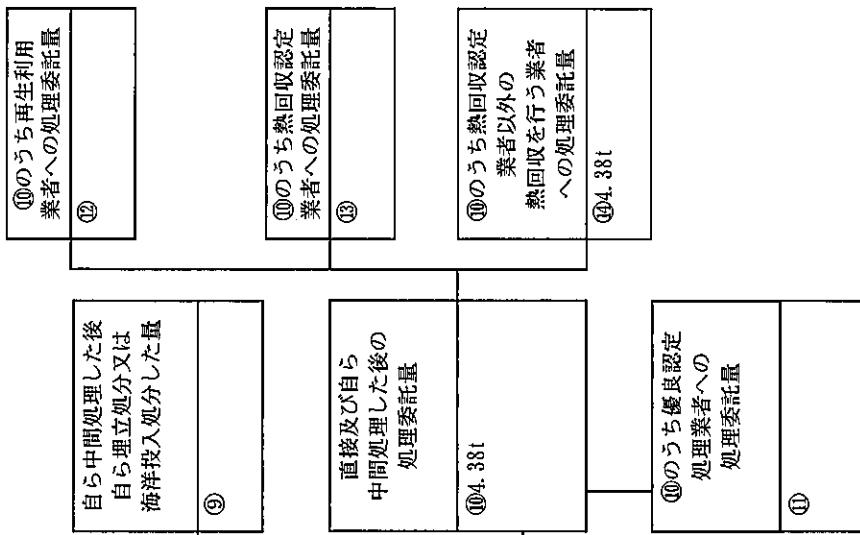
有 傷 物 量
不要物等発生量

不 妨 物 量
①4.38t

排 出 量	実績値
①4.38t	④ 4.38t



項目	実績値
①排出量	4.38t
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑪全処理委託量	4.38t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	4.38t



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。